



2023
秋号

地域の皆様と
第二清風園を
つなぐ広報誌
令和5年10月1日発行

わたしにとっての親切

特集 人の数だけある「親切」のカタチ。親切って何だろう？を集めてみました。

介護福祉専門学校で学んだ、「介護を”する”、”してあげる”
のではなく、”させていただく”ということ、18歳から35歳の今に至るまで、常に意識して働いています。どんな
介助を行う時も、いつも「させていただく」意識で。

ご利用者に接するときは、自分の大切な人を思い浮かべて、同じ気持ちで接するように心がけています。



現在も、
見据えた支援を
心掛ける。
共

ご 利用者の立場に立つて、「常に寄り添えるように」をモットーに、家族ではないけれども、家族のように気軽に話しかけてもらえる雰囲気です。かつ、人生の先輩として敬う気持ちも忘れずに対応できるよう心掛けています。そして、接するときには常に笑顔を忘れずに。



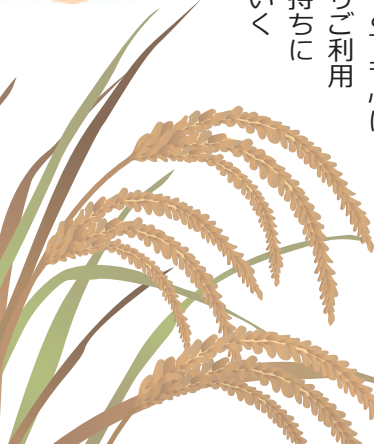
親切は、優しさと厳しさ。

こちら側が親切と思い込んで行う

事ではなく、相手が親切と思う事。利益や計算ではなく、思いやりを持って、時には厳しさを持って、その人の為になる何かをする事。



小 さな気づきが親切につながると思っています。そして、そのような親切に対する「ありがとう」のことは、とても心に響いて、よりご利用者を思う気持ちにつながっていくのだと思います。



必要なサービスを、適切に行えるのはプロとして当たり前。その上で、「親切」と感じて頂ける目配りができるかどうか。そこに仕事へのやりがいと誇りを感じています。



「人に感謝できること」。
どんな時でも、
どんな場所でも。



気配りの親切

高齢者の方は皮膚が弱いので、少しの圧力でも内出血が出来やすい状態です。したがって、手を引いて歩く介助をする（手引き歩行）時は、私は親指を相手の手に触れないようにして、強い力が伝わらないようにしています。安心して安全に移動して頂けるよう介助しています。

移動の介助を行う時は、ご利用者を傷つけないように、ネームプレートを外します。念のため腕時計も外して、安全を最優先に考えています。

電 車を利用する際に、「このカードへの入金で困っている高齢者を見つけました。手伝いを申し出て、無事解決できました。日頃から、困っている方に対するアンテナを持ち、一歩踏み出す勇氣を持つことが、親切を実践する上で大切なことだと思ふ。

親切の喜び

食事のラップや蓋を外して提供した時の「ありがとう」の音が嬉しい。ご利用者の思っていることを、「どう思っているのかな？」と感じて、くみとり、行動できたときの「ありがとう」が、とてもうれしい。



活動報告

救命講習を実施しています

8月18日 実施報告

第二清風園では、全職員を対象として、救命講習を実施しています。

通報時に、救急車が到着するまでの時間は、東京都の平均で7～8分。その到着までの間に、居合わせた方が救命措置を行った場合、救命率は2倍前後に向上します。できるだけ多くの方が救命措置を学んで置くことが大切であることを、データを交えて説明して頂きました。

演習では、けが人の発見→意識の確認→119番通報→AEDの確保→呼吸確認→胸骨圧迫といった措置の流れを学び、人形を使って繰り返し練習



姿勢や身体の使い方など、多くのコツを覚えないと正しい刺激が入らず、実践の大切さを実感しました。



現場をイメージしながら、繰り返し手順を確認

を行いました。いざという時に実践できることを目標に、元消防士の講師の指導のもと、様々な職種の職員が気持ちをひとつにして、真剣に取り組んでいました。

AEDの使い方も学び、演習を繰り返して操作に慣れるよう練習を行いました。救急車到着までにAEDを使用できた場合、社会復帰の割合が大きく向上することから、いざという時に利用できるよう、設置されている場所が増えていること、近所のコンビニや施設など、AEDの設置場所を普段から意識しておくことが大切など、役立つ知識をたくさん学ぶことができま

した。

講習を通して、とにかく焦らず一つずつ確認しながら対処することが大切、そのために定期的に繰り返し練習することの必要性を改めて実感しました。

施設長より 第二清風園 施設長 石田 悟



新型コロナウイルス感染症が「5類感染症」に移行され、施設では直接面会の再開、各種行事の再開、ご利用者の外出行事の再開等、少しずつではありますがコロナ禍前の生活を取り戻しつつあります。

特別養護老人ホームにおいては、久しぶりに対面式でのご家族懇談会を、9月に行う事ができました。ご家族にとっても、私達職員にとっても、顔を合わせたコミュニケーションの大切さに改めて気づかされた気がいたし

ました。

新型コロナウイルス感染症がもたらしたマイナスの影響は計り知れませんが、同時に「これまで何気なく行われてきた事がいかに大切な事だったのか」という事を気づかせてくれたという側面もあったのかもしれないと感じました。

そのように、一つ一つ丁寧にサービスの意味を考えながら、今後の施設運営を行っていく所存ですので、ぜひ今後とも第二清風園の運営を支えていただきますようお願い申し上げます。

社会福祉法人
賛育会
第二清風園

〒195-0073
東京都町田市薬師台 3-270-1

☎ 042-736-6906
FAX 042-736-6903

デイサービス（直通） ☎ 042-736-6908

居宅介護支援事業所 ☎ 042-736-6907

鶴川第1高齢者支援センター ☎ 042-736-6927

第二清風園かわせみ 〒195-0063
東京都町田市野津田町 831-1

☎ 042-708-8976

野津田あんしん相談室 ☎ 042-708-8964

